

*** 40years commemoration book ***

MATSUMOTO TAKAHIRO ENCYCLOPEDIA

松本タカヒロ 大百科

俺のこと
知つて
欲しいんだ、

まつもとです。



2010.08.19 代官山 晴れたら空に豆まいて
ザ・タートルズライブ「燃える！タカヒロナイト」特別付録



*** Profile ***

◆本名 松本尚裕

◆あだな まっちゃん、まつもっちゃん、
まもる（中1の時のみ）

◆生年月日 8月19日 獅子座
靈合星人（土星人+）

◆血液型 A型

◆出生地 静岡県

◆身長 168cm（室内）～178cm（ブーツ着用時）

◆体重 55kg

◆足 26.5cm

◆視力 右1.5 左1.5（PC使用時の眼鏡装着）

◆耳 大きい、
前向きなので、後ろの音が聞こえにくい。

◆肌 メラニン色素が非常に多い。

◆髪 猫毛の天然バーマネット

◆兄弟 姉がひとり

◆性格 人見知り。

◆特技 手旗信号（ボーアスカウトにて取得）、手品

◆クラブ活動 囲碁部、将棋部、軟式テニス部、
水球部、軽音楽部

◆パソコン MacBookPro

◆携帯電話 iPhone8GS

◆下着 ストライプのボクサーパンツを好む。

◆好きなこと フラモデルの汚し塗装、模様替え、
変な人観察、妄想、散歩で道に迷うこと、
カフェの女性店員さんに冷たくあしらわ
れること、人の恋をやみくもに盛り上げ
ること、食事。

◆好きな言葉 グリル、ソテー、宇宙

◆好きな色 白、赤
◆好きな食べ物 三色弁当、カレーと一緒に食べる
ときのラッキョウ、白桃の缶詰、
カオマンガイ。

◆好きなスイーツ いもケンピ、
六花亭のストロベリーチョコ

◆好きな飲み物 水。ブラックコーヒー
(京都イノダ珈琲のアラビアの真珠)
◆得意な料理 ポテトサラダ、てんぱり、炒飯。
◆飲酒 ハイスピードで赤ら顔になる。



遠い昔、遙か彼方の銀河系で…。
ひとりの少年が生まれ墮ちた。
少年の名はタカヒロン・スカイウオーカー。
これは若きタカヒロンが少年から大人へと成長してやく物語である。

* * * * * Congratulation message * * * * *

タートルズメンバーからのお祝いメッセージが届きました

HAPPY BIRTHDAY PD

～ 40歳の君へ～ 文・岩見 岩見

松本さん、40歳あめでとうございます。
どうですか？40歳は、肩は上りませんか？
僕がタートルズに入ることになった直前のきっかけは、部室で
麻雀にたま時、道太郎から「お前声を誇られたからなんぞやが。
ここだけの話、実はその前から松本さんには迷惑してたんですよ。
「ちんちくりんして軽い音いたお部屋音っぽい人が、イカしたギターを弾く」
松本さんはそういうイメージでした。
いやダメのテーマを強きながらお立ち台でダンスとか、当時としては
斬新なやり方で、松本町（大阪市住吉区）五条がセリしました。
道太郎に誘われて、現メンバーで11月にスタジオに入っ音を合わせて
みると、とてもいい感じになじんだのを感じています。
当時、いわゆる“古き良き”にかかれていた僕は、オルガン、
ピアノ、エレピなどを弾いたのですが、松本さんも、ちょうど
25〜30歳にかけていた時期で、とてもしりとりをやります。
もしさの時、僕が小室サンドルが歌っていた、シンセやドリーミー
聴いていたら、きっとタートルズより僕はいかれたことでしょう。(笑)
まあ、そんなこんなで、いい感じ人生を狂わせてくれた松本さん
には、とても感謝しております。

素敵なお代をお過ごしください！僕もすぐに下さります。(笑)

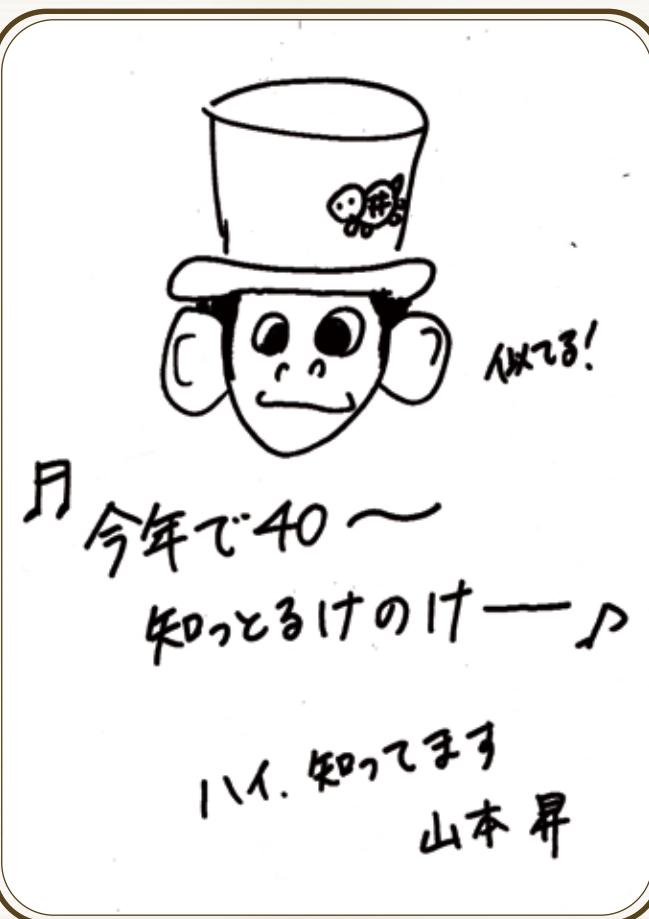
2010. 7. 27 4:25 AM

—— 岩見へ

丸っこい文字のコメントありがとうございます。人柄がでていますね。
上京の時、レンタカー1台なのに、自転車を無理矢理持ち込もうとした岩見さん。
「ぶよぶよ」で相手がやる気を失うまで手加減しない岩見さん。
「岩見っていまだにサポートメンバーだよね」というギャグを言うと少し寂しそうにする岩見さん。
メールに愛犬「カンブキン」の写真をやたら貼付してきて、俺に感想を強要するのはやめてください。かわいいけど。
ってことで、これからもよろしく！

—— 昇へ

コメントしづらいイラストありがとうございます。人柄がでていますね。
デビューが決まったことを最後まで親父に隠していたノボルさん。
家に遊びに行っても絶対部屋の中を見せてくれないノボルさん。
「桃太郎電鉄」で負けてくると眠りにつくノボルさん。
最近の昇の話術の上達っぷりには目をみはるものがありますが、
そんなに仕上がっていなかったあの頃の昇も好きでした。
そんなこんなで、これからもよろしく！



To 松本タカヒロ 様

やはり僕が大学2年、松本さんの5年時の
学祭での出会いが一番覚えてます。

僕のDeep Purpleバンドと松本さんのThe Who
バンドが対決して僕が負けた時のことです。

その後日、僕をタートルズに声をかけてくれた
時もおどろき。

あの学祭がなければ今のタートルズ、
今の僕がないわけです。

本当に感謝します。

これからもよろしくです。

道太郎

—— 道太郎へ

コメントありがとうございます。人柄がでていますね。
タートルズ初期のチェリーボーイ風なルックスだった道太郎さん。
俺が仕事から帰ってきて、出勤前とまったく同じ体勢で俺の部屋で
「信長の野望」をプレイしていた道太郎さん。
デビュー直前に勝手にアフロヘアにして事務所にこびりつく叱られた
道太郎さん。
そんなモーレツ道太郎さんが、今じゃイケメンと言われていることに微妙に納得がいっていないんだけど、これからもよろしく！

松本夕力ヒロの歴史年表

BABY編 ～松本夕カヒロ、地球に降臨～

◆一九七〇年◆

【一九七〇年八月一九日 静岡県富士市、富士山のふもとの街で、松本尚裕 生誕】



◆一九七三～七五年◆
東京都板橋区にて過ごす。
記憶ほんやり。

【あけぼの幼稚園 入園】

担任の望月先生に初恋。

エレクトーン教室に通い始める。

音楽人生の原点。
マジンガーゼ、ゲッターロボ、「コレ
ンジャーなどのヒーローテレビアーナメ

に夢中になる。妄想人生の原点。

またしても引っ越しが決まるが、幼
すぎて特に悲しくはなかつたな。

山と川と海にかこまれた辺境の田舎町。
巨大足長グモ、ゲジゲジ、ムカデなどのモンス
ターが次々に家に現れ、夜な
夜な怯える。

宮崎の方言が全く理解できず、まるで外国に来たみたいで泣く。

宇宙戦艦ヤマトに夢中になる。
東海幼稚園に転園。

将来の夢はF1レーサー。

◆一九七〇～七二年◆

【岡山県倉敷市にて過ごす。記憶なし。
まるで戦後のような写真だね。】



◆一九七五～七六年◆
宮崎県延岡市にて過ごす。
東海幼稚園に転園。

宇由戦艦ヤマトに夢中になる。

将来の夢はF1レーサー。

普通。

小学生編 ～転校少年～

◆一九七六年◆

【宮崎県延岡市港小学校 入学】

一学年十四人。山と川にかこまれた、まる
で分校のような田舎の小学校。
運動会は全種目全員参加だった。



山の中にブールがあったため、ブール授業
の前は、先生が網で水面に浮いている虫の死
骸を拾い、「絶対目を開けてはいけない」とい
う厳しい掻（おきて）があった。

ジョロウグモ相撲、蛇の飼育、罠を仕掛けた野鳥捕獲などなど、今
考えると原始時代のような日々。放課後は山へ行くが、家で一人遊び。
趣味はダイアブロックと漫画の模写。

将来の夢は「お相撲さん」。理由は毎日「やんこ」

鍋が食べられるから。
エレクトーン挫折。書道を習い始める。

参観日に「う」のつく言葉を述べよと先生に言
われ「うんこ」と答え、マザーに叱られる。

『めんこ武勇伝』

『めんこ』を猛特訓しすぎたため、
ダンボール二箱分のカードを近所の
友達から奪ってしまう。凝り性な
はこのころから。友達の親から苦情。泣く泣く
カードを返却した事件。



◆一九八一～八年・小学五年～六年生◆
滋賀県草津小学校 転校

九州から関西へ。言葉の壁に再びとまど
う。学校では関西弁。自宅では宮崎弁とい
う二力国語をあやつるバイリンボーイ。

ボイスカウトに入団。モールス信号、マッチな
手旗信号、食べられる草の識別、マッチな
しての着火など、遭難した時に生き残れる
サバイバルな男になる。

ガンブランが上達しまくる。友達のガンブ
ランを作つてあげて、小銭を儲けるまでに。

同級生に初恋。幼稚園の先生に初恋といつうエピソードはつまらない
ので、こつちが初恋ってことにしている。

卒業と同時にまた引っ越し決定。がびーん！

初めて買ったレコードは近藤真彦の「ギンギラギンにさりげなく」。



中学校編 ～ギターとの遭遇～

中学時代の写真が皆無のはなぜだろう？
三年間で女子と会話した記憶ほぼゼロ。ただただ男友達とたわむれる日々。
だが…

◆一九八三年・中学一年生◆

【滋賀県守山市立守山中学校 入学】

守山市に引っ越す。

入学式前日に校則を勘違いし丸坊主にする。学年でひとりだけ丸坊主の入学式。

軟式テニス部に入部するも全く上達せず。自分の運動神経のなさに気づく。なぜかヤンキーにやたらかわいがられる。ほっぺたが柔らかいという理由で毎日ほっぺたをヘラヘラと触られる。



◆一九八四年・中学二年生◆

◆一九八五年・中学三年生◆

レコードマニアのお金持ちのクラスマートの家にいりびたり、彼の膨大な洋楽レコードコレクションを聞きあさる日々。彼のつまびく白いフォークギターにしづれ、ギターへの憧れが増して行く。

このころ聞いていた八〇年代洋楽ヒッツはその後の音楽人生に多大な影響を与えておりますな。

◆一九八五年・中学三年生◆

ついに姉の友人からトーカイの白いフライティングのエレキギターをゲット。一万円。ひとしづれ「ナイトレンジャー」の「コピー」にあけくれるも、まったく上達せず、すぐ挫折。

卒業アルバムに書いてあつた将来の夢はアニメのセル画に色を塗る仕事。おたくっぽい。そして卒業アルバムに坊主だった俺のアップが映った入学式の写真が掲載され、最後の日にハゲハゲとからかわれつつ中学生活を終える。

かろうじて制服のボタンがひとつ後輩の女子にもらわれる。

◆一九八六年・高校二年生◆

◆一九八八年・高校三年生◆

隣町の西川君（現T.M.Revolver）と学園祭でバンドをし、彼のロックスターぶりに憧れる。こいつい人がプロになるんだろうなーっと自分の凡人ぶりに愕然とする。

滋賀県にはライブハウスがなかったので、市民ホールでコンサートを開催。初デート。前日にデートコースの下見にてかけるチエリーっぷりを發揮。



◆一九八八年・高校三年生◆

学園祭にて「ねるとん紅鯨団」をパクリ、映像

人前にでることがクセになりはじめる。理科室の&トークショーを開催。机が壊れるほどのお客さんで大盛況。しかしバンドの方はさっぱり。

カラオケボックスのない時代。毎日、放課後になると友人宅で歌謡曲をカセットテープで流しながら歌い踊っていた。若さゆえの異常なテンション。當時全盛だった早弾きギターが弾けず、バンドをクビに。落ち込む。

学園祭にて初めてオリジナル曲を作りボーカルデビュー。当時の音源がないのが悔やまれる。BON JOVIのコンサートに行くためにアルバイト。社会の厳しさを知る。数学が好きだったが、気の迷いで文系クラブへ。受験勉強してると同時に初めての彼女とは自然消滅。若すぎたメモリ。なぜかヤンキーにやたらかわいがられる。ほっぺたが柔らかいといつた。なぜかヤンキーにやたらかわいがられる。ほっぺたが柔らかいといつた。なぜかヤンキーにやたらかわいがられる。ほっぺたが柔らかいといつた。



高校生編 ～バンド結成～

挫折していたギターをまた始める。おこづかいのほぼすべてをレコードに費やす音楽少年たつだが、今思えばすこしチャラチャラしてたなう俺。

◆一九八六年・高校一年生◆

【滋賀県立膳所高校 入学】

完全に吉川晃司の影響で水球部に入部。逆三角形バディでモテモテになるはずが、ハートすぎて一ヶ月で退部。

だつてウォームアップで一キロとか泳がされるんだもん。

女子マネージャーにつつた足をマッサージしてもらったことが唯一の深い思い出。

＊当時の水着は今もスポーツジムで愛用中。

当時流行していたマイコーン「PC 6000 1MK2」が自宅にやってくる。好きだったゲームは「サラダの国」のトマト姫。ゲームだけでは飽き足らず、マシン語でプログラムを作りだす。

◆一九八七年・高校二年生◆

◆一九八九年・大学一年生◆

軽音楽部になぜかドラマーとして入部。尾崎豊の「ドライビングオールナイト」がたつたひとつつのドラムのレパートリー。

その後、ギタリスト脱退のため、はんなりギタリストに転向。挫折したギターをまた弾き始める。

ハードロックとHOURND DOGの「コピー」バンド「EVE」結成。

やみくもにアイシャドーとビリビリに破いたカツターシャツをまとい、初ライブ。バンドやつたからってモテるとは限らないことに気づく。



◆一九九〇年・大学二年生◆

◆一九九一年・大学三年生◆

時はバブル絶頂期。うかれ気分の大学には全くなじめず。そして留年。しかしあかげでタートルズメンバーとの出会い。人生が大きく動き出す…。

「男おいどん」の世界だったよ。変わった住人がいっぱいいたなー。

軽音楽部に入部。ロックンロールなら早弾きができるなくてもバンドができるとを見出。ストリートライダース、ルースターズの「コピー」バンド「BLOODY MARY」結成。担当はギター。大学には全くなじめず。デイスコへ行ってみる。あかん。



◆一九九一年・大学三年生◆

◆一九九二年・大学四年生◆

「SMOKING TOM」結成。担当はギターとダンス。本格的にライブハウスに出演しだすも、人気は全くです。。。台所にナメクジが侵入。気を失いそうになる。



ギターを弾かず踊ったり、MCを担当したりと、次第に自分の表現欲求はギタリストだけではなくなってきているこというつすら気づく。

軽音楽部の副部長に就任。

学園祭の前日に酔っぱらってまぶたにマジックで目を書く。次の日、寝坊してマジックを取る時間がなく、まばたきしないように電車で学校に向かう副部長。

麻雀におぼれる。

◆一九九二年・大学四年生◆

【「ダイナマイト・ジローズ」にギタリストとして加入】

先輩に誘われ、当時関西のライブハウスで大人気だった「ダイナマイト・ジローズ」に参加。突然、女の子にキャーキャー言われ喜ぶ。

バンドでプロになりたいとぼんやり思うようになる。

アパートの隣に住んでいたおばあちゃんが、毎日シユミーズからおっぱいを出したまま歩き回るので困る。

レッスンのコンサートで、ギターを弾かずによだれを垂らしているジョン・フルシアンノテを見てドラッグの恐ろしさにビビる。

◆一九九三年・大学五年生◆

「ダイナマイト・ジローズ」で一曲メインボーカルを担当。ボーカリストになりたいとふんわり思い始める。



ターボルズ編 ～アイツらとの出会い・上京物語～

卒業まであと一ヶ月。。。ついに本格的にバンド結成へ向け動き出す。

◆一九九四年・二月◆

【メンバー探し】

「俺と一緒にピッkingになりたいヤツ募集」という若さあふれるバンドメンバー募集チラシを張るも誰からも連絡来ず凹む。いったんくしける。



「道太郎」発見。

となりの軽音サークルにいた、やたらジャンボなベーシスト道太郎。テクニックは未知数だが、ルックスの派手さのみで声をかける。

「俺ハードロックなんで」という謎のセリフでいったん断られるも、結局メンバーになってくれることに。

「昇」スカウト。

ドラム叩いてるところはほとんど知らないが、なんだか面白そうだったので声をかける。どんな返事だったか全然覚えてないけど、メンバーになってくれる。

「若見」発見。

麻雀してるところしか知らないが、サポートキーボードをお願いする。その後毎回練習にくるようになり、いつの間にかメンバーになる。



ターボルズ完成。音楽性より完全にキャラクター重視。

そんなバンドがいまだに続いているのは奇跡的だな。



当時のキメゼリフは「ロックバンドだぜー！」っていう意味不明のシャウト。

大阪厚生年金ホールをソールドアウトするほど人気があったカリスマバンド「餃子大王」。ジローチャン脱退のため、エスカレーター式に加入。

「餃子大王」でも一曲ボーカルを担当。俺ってボーカルでもいるんちゃうかと妄想しばじめる日々。

流れのままに就職活動。アパレル会社に内定。

バンドでプロになりたいと思うようになるが、どうしてよいかわからず、人生に苦悩する日々。

卒業の二ヶ月前。ついに自分がメインボーカルの新バンド結成を決意。これがダメなら音楽は趣味にしようと思つたな。

卒業旅行はROCKじゃないと思い、孤独に春休みを過ごす。ROCKってほんとに若者におかしな思想を抱かせるね！



◆一九九四年・三月◆

【活動開始】

初ライブは大阪城公園。いわゆる「城天」。初めて作った曲は「カリスマになりたい」。いまだにカリスマにはなれない。

◆一九九四年・四月◆

【サラリーマン時代】

ネズミのキャラクターでおなじみのディ二ー関連のアパレル会社に就職。人事・経理部に所属し、主に学生の面接係を担当。マッシュルームカットで学生を面接。意外に学生に人気。

会社の寮に引っ越し。住人は俺ひとりだったのです好き放題。

昼はサラリーマン、夜は作曲と練習。会社の飲み会にはいっさい不参加。この頃遊んだ記憶つてほとんどないな。

初代猫ごえもん同居。

インターネットなんてない時代。



◆一九九五年◆

【激動】

ライブの日は会社を休み、遂に有給休暇日数をオーバー。社長に叱られる。

阪神・淡路大震災。こわかった。いまだに地震がくるたびに死を覚悟します。

二本目のデモテープ「ボクハロケットマン」をレコード会社のオーディションに送りまくる。これがダメならあきらめようと思ってた。

博多旅行中にシルクハットを購入。

まさかまさかの二社から連絡をもらう。

オーディションライブの日に、違うライブをタブルブッキングしてしまい、オーディション欠席という大物っぽりを發揮。しかしながらSONY RECORDに気についてもらい、デビュー決定。

当時、昇は「吉本興業」の社員、岩見は「カブコン」でゲームミュージックのクリエイター、道太郎は大学生ってのもあって、全員で上京するのって無理かもなーと思ってたんだけど、意外にあっさりみんなで上京することに。

◆一九九六年・八月◆

【上京】

四人全員の荷物を一台のレンタカーに無理矢理詰め込み、深夜零時、東京へ向け出発。

早朝に東京に到着。このとき見た新宿の朝焼けは今でも忘れません。



○○○ 松本タカヒロの猫たち ○○○

どんなに仲のよい友達とも24時間以上一緒にいられないほど、ひとり好きだった松本タカヒロ。そんな男も猫を飼い始めてからずいぶん変わった。いまや猫なしには生きられない体に。。。



初代 ゴエモン(♂) 雜種。

1994年生 会社の倉庫で生まれた捨て猫くん。

初めての猫との同居。

ゴエモン以外に7匹いたんだけど、他の子はダンボールに入れて、近所の公園で子供達に引き取ってもらった。



1995年 動物病院で働いているファンの方に虚勢手術をしてもらつたんだけど、気を利かせてホルマリン漬けの金玉をプレゼントされ戸惑う。

1999年 行方不明



2代目 モンブチ(♂) アメリカンカール。

巨大。つまみ食いを全くしない上品なジェントルキャット
1999年 知人の紹介でSMクラブの店長さんからゆずり
うけ同居。しづかに入れると1m近い巨大さで遊びに来た
人はみんなビックリ。



2003年 ご臨終。「となりのトトロ」の猫バス風の棺桶を作つてあげる。

3代目 まっさん(♂) 雜種。

黒い。好きな食べ物はフロッコリーとマヨネーズ。

1999年 モンブチとほぼ同時期に同居開始。

雨の日にゴミ捨て場でニヤニヤ泣いているところを確保される。



当時は、真っ黒でテカテカしてコウモリみたいでキモかった。
酔っぱらって名前を考えてしまったためこんな名前になら。

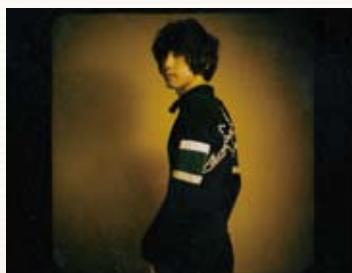
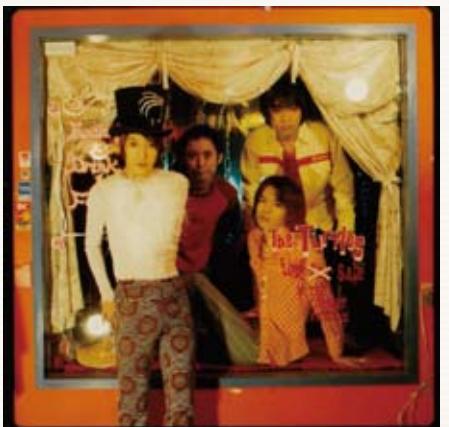
2010年 元気に同居中。現在10歳。
人間でいうところの60歳くらい。



明らかに老けてきている。

◆一九九七年・八月二一日◆

【タートルズ メジャー・デビュー】



俺の宝物

機動戦士ガンダムのメカニカルデザイナー「大河原邦夫」先生の直筆サイン色紙
音楽雑誌で連載コーナーをしていた時にわがまま言って、少年時代からの憧れ
「大河原先生」のご自宅へ！ サインをお願いしたら「僕はサインをきちんと書きたいので」と後日ガンダムの直筆イラスト入りで郵送して頂きました。感動。
このプロ意識！一生の宝物でございます。



	Fender Mustang Bass ハル君(Talk To me)から長期レンタルしております。
	Gibson Songwriter 37歳にして初めて買ったアコースティックギター。 キラッキラしています。

	YAMAHA Classic Guitar ハル君(Talk To me)から長期レンタルしております。その2。
	Fender MA-1 ミニアコースティックギター。 1万円。 ペットで作曲するときに便利で、いつも部屋にころがってるオモチャっぽいギター。かわいい。

	Matchless DC-30 マッチレスが大好きなマッchanデス。価格50万。 まさに清水の舞台から飛び降りる思いで事務所に借金して購入。その後、地獄の4年ローン。 初期型なので市場ではなかなかの値段で売れるらしい。売らないけど。
	AVANTUL 友人のギター職人ミツルさん制作のオリジナルカスタムギター。試奏させて頂いた時、「あまりに松本君の顔がうれしそうだったから」という理由でプレゼントして頂く。 買うと40万以上するらしい！！ ひや～。 これ1本でいろんな音ができるんだ。

	EFFECTER エフェクター大好き。何個あるかわかんない。 気分でいろいろ使うけど、金色のケンタウルスってエフェクターは使用頻度100%。カジノに続いてこいつがなくなったら困る。エフェクターなのに10万円もします。
	Orbile ES-335 タートルズのPA石山さんから一生貸してあけると言われ我が家に。 最近あまり使ってないけど、久々に使いたくなってきたぞ。

	ヴォコーダー いわゆるロボット声がでる機械。 ヴォコーダーが好きだ！ それぞれ味があるので何個でも欲しくなっちゃう。
	石橋楽器オリジナルベースとマッサン 初心者用。1万円。超重い。 超弾きにくい。といいつつ、10年以上自宅レコーディングで使ってますね。



自宅スタジオ / 最近はこんな感じでいたってシンプル。コンピューターって便利ね。Mac大好き。機材って機能大事だけど、だいたいルックスで買っちゃいます。

松本タカヒロの楽器博覧会

	Fender Thinline 常にサブギター的に使われることが多い。愛人的な位置でも文句を言わず仕事をこなすカワイイやつ。
	Epiphone Casino タートルズ初期のメインギター。 タートルズの曲はほとんどこれで作った思い出のギター。 手が小さい俺としてはカジノのネックは細くて弾きやすいんだ。

	Combat Custom Guitar 型番不明 九頭龍神社へお参りに行った日に、訳あって我が家にやってきたミステリアスな男。 通称：神ギター。めちゃくちゃいい音します。
	Epiphone Casino(1969) 二代目カジノ。1969年製のピンティージギター。3回もネックが折れ、フレットも二度交換、最近調子が悪かったんだけど、徐々に調子を取り戻しつつある頼れる男。コイツがいなくなったらほんとに困る。 地獄の2年ローンで購入。

	Teisco Spectrum 5 "reissue" ルックスのみで衝動買いした60年代のビザールギターのリイシュー。とにかくかっこいいイケメン。 1,2,3弦と4,5,6弦がSTEREOで出力できるという謎の機能付き。 最近なぜかVan Halenが使っていてうれしい。SPARKYではメインギターとして活躍。
	Fender TELECASTER ダイナマイトイローズのジローさんからカリバクしている。ボディには亡きボ・ガンボスの「どんと」さんのサインが入っているレアモノなのだ。



あらためて自分の反省を振り返るというのは、なかなかに過酷な作業でございました。数珠つなぎのようにすっかり忘れていた記憶が蘇ってやきます。何を書き、何を削るか。ひとつのエピソードだけで何ページも書き記したくなるものです。

誰しも生きていれば、忘れてしまいたいごく恥ずかしいエピソード、忘れてしまった地味なエピソードがたっぷりあるもの。今回ほどどちらかと言えば、音楽家松本タカヒロが出来上がるまでに焦点をしぼり、地味なエピソードは割愛させて頂きましたが、意外にそんななんてことはない日々のエピソードのほうが人生にとっては大切な気がしたりもします。

「人との出会いに偶然はない。必ず意味がある」というのは僕の大好きな言葉。どんな人との出会いにも必ず何かメッセージがあるような気がします。タートルズ含め、僕が奏でてきた音楽で繋がった皆様、どこかでそれ違った皆様、そして本日来てくれた皆様との出会いにもきっとなにか大切な意味があるのでしょう。

メンバーの音楽的趣向も人柄もほとんど知らぬまま結成したタートルズ。よくここまで続いているもんだと改めて思いました。奇跡ですね。バンドって不思議だね。

最後になりましたが、大百科のアイデアを頂いた福田正俊様、素敵なお手写イン＆編集をして頂いた高松みづえ様、ほんとにありがとうございました。感謝！

デビュー以降の大百科もまたいつか機会があったら書いてみたいです。
最後まで読んでくれてありがとうございます！

2010年8月19日 松本タカヒロ

おまけ
TAKAHIRO MATSUMOTO
2010.8.19